

こんなことも 地球にも 懐(ふところ)にもやさしい

家を建てる時、リフォームのとき、
まず、考えよう、省エネ!!

取り組み

新築するときには、 断熱性の高い住宅を建てましょう

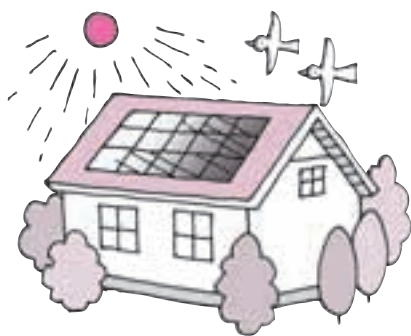
皆さんが建てられる住宅も、冷暖房や給湯、照明、家電製品などを工夫することにより、消費するエネルギーの無駄をなくし有効に使うことができます。また、二酸化炭素排出量を削減して地球温暖化防止に役買つことになりま。つまり省エネルギーに配慮した住宅を建てることです。

省エネといっても、従来のイメージのように生活水準を落として我慢する、エネルギー消費をとにかく削減するというものではありません。省エネ住宅は、エネルギー消費量を大幅に増加させることなく、室内環境を向上させるという、環境への配慮と暮らしの快適さを両立しています。

住宅設備機器の交換は家を建てた後でも比較的簡単です。しかし、住宅の基本性能である断熱・気密・遮熱性能や、自然エネルギーを活用するための性能などは、新築時や大規模リフォーム以外では確保することが難しい要素です。家を建ててから後悔しないためにも、十分に考慮しましょう。地球環境に配慮した賢い家造りこそ、21世紀の住まいの形です。新しく

家を建てる時には、次世代省エネルギー基準を満たす高断熱高気密住宅にしましょう。断熱性の良い家は、省エネで光熱費が掛からないだけでなく、温度変化が少ないため快適で健康にもよく、結露も防ぐので住宅も長持ちするといわれています。

ある住宅会社の試算によれば、光熱水費が年間82,000円も節約できるとされています。



※「環境コラム」は、今回を持ちまして終了します。
次回からは、「防災シリーズ」を連載します。

●このコーナーは、環境課が担当します。内線304

男女共同参画⑥

キャリアを積む

シリーズ

『男と女』

「これから仕事を始めたい」とか、「働くときに持っている便利な知識を知りたい」などと考えている人に対して、市民まちづくり推進室では、男女共同参画講座として『キャリアアップ講座』を開催しました。

講座では、『キャリア』とは、『自分が生きてきた人生経験(家庭生活・子育て・仕事など)すべてのこと』であり、このキャリアを今後になかためにも、自分を振り返ることが大切です。そして、人生の主役は『わたし』であり、この主役を演出するのも自分。この『わたし』をどんな主役にするかは自分の演出次第です。そのために、『わたし』を知ることが大切で、いろんな所に出て行って、自分をいろんな角度から見つみよ」と話がありました。

さらに、「どんな働き方をしたいか、常にリスクは付きまとうもの。リスクが高ければリターンも高いが、低ければそれもまた低い。自分は何を求めているのかを知っておくことが大切」ともありました。

将来の自分に必要なキャリアを知るために、過去のキャリアを見詰め直し、自分自身で判断できる知識を身に付けていくことの大切さを知ることができた。この講座の最終回は、「セクシュアル・ハラメント」についてでした。参加した人は、また一つ新たなキャリアを積むことができたよう。皆さんも、いろいろな機会を見つけて、自分のキャリアを積み重ねてみませんか。